

保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)

令和5年9月1日

No.577



発行人 森田 信司 編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

http://www.niji-tumi.net/



だんじり祭りだ!
ソーリヤー!ソーリヤー!

岸和田市 八木こども園

スマサポ養成研修報告!! 地域貢献とスマサポ認定をめざして

今年5月からスマイルサポーター(以下、スマサポ)養成研修が、TKP心斎橋駅前カンファレンスセンターで行われています。今年度は、申込者が多く、受講者は156人となりました。講義は、9月28日の最終講義まで全10回。受講者は、多様な家庭の状況を踏まえた保護者支援・子育て支援のあり方のほか、地域から期待される保育園・認定こども園の役割への理解を深め、これからの地域貢献事業・スマサポの認定をめざして熱心に講義・演習に取り組んでいます。



養成研修の前半では、児童発達支援センターや家庭児童相談室など関係機関を知るための講義が行われました。また、大阪しあわせネットワーク・社会貢献支援員と連携して支援したスマサポの実践事例から、地域貢献事業のめざす取り組みと役割について理解を深めています。

研修は残すところ事例演習のみ。これまで学んできたスマサポの役割・機能を応用しながら、関係機関との連携や場面をイメージしたロールプレイ(疑似体験)を体験します。

事例演習では、模擬のケース記録を用いてグループワークを実施。ある家族の情報からバラバラにしてホワイトボードで共有・可視化するなかで、「どのように情報を集約して共有していくか」「家族の言葉や表情などから表出された思いをどう読み取るか」といった専門的な記録法を学びました。価値観の違いや多角的な視点を養うために、講義ごとに活発な意見交換が交わされています。「必要な支援だけに目を向けず、家族の強みにも着目することが大切だと気付いた」といった感想もあり、これからのスマサポとしての皆さんの活躍に期待が膨らみます。

(事務局)

暑さよりも
熱さ!

保育の魅力を
伝えたい

ブロック 就職フェア だより

5月から始まった各ブロックによる「就職フェア」。暑さに負けず、どのブロックでも保育者のやりがいや、園の魅力を熱く話されていました。各就職フェアに参加された皆さんは、「私もこんな保育者になりたい!」「働いてみたい」と感じてくれたことと思います!ここでは、各ブロックの就職フェアの報告と、今後の開催予定についてお知らせいたします。(事務局)

北摂

日時：6月11日(日) 12:30～15:30
会場：梅田サウスホール 大ホール
出展法人：27法人 来場者：74人

雨の中、たくさんの就活生が来場され、希望するブースの説明を熱心に聴いていました。



南大阪

日時：5月27日(土)
13:00～16:30
会場：難波御堂筋ホール 6F
出展法人：18法人
来場者：40人程度



日時：8月20日(日) 13:30～15:30
会場：あべのハルカス25F 会議室
出展法人：20法人 来場者：33人

出展法人が人材確保のきっかけにしようと、保育の仕事の楽しさやすばらしさを来場者に伝えていました。来場者は各法人のブースで職員の話真剣に聴いていました。

泉州

日時：5月14日(日) 13:30～16:30
場所：難波御堂筋ホール ホール10
出展法人：38法人 来場者：121人

上記日時・場所で「オール泉州就職フェア」が開催されました。



泉州地域の会員法人がブースを出展し、学生118人(94.7%)一般求職者3人(2.6%)の来場がありました。

北大阪

日時：6月4日(日)
場所：OMMビル2階 Bホール
出展法人：32法人
来場者：82人

例年より早期の開催でしたが、昨年度よりたくさんの学生さんが来られて熱心に説明を聴いていました。



河内

東大阪市就職フェア
(開催予定)
日時：9月3日(日)
11:30～15:30
場所：東大阪商工会議所
出展法人：約30法人



八尾市就職フェア

日時：8月20日(日)
13:00～16:00
場所：難波御堂筋ホール 6F
出展法人：20法人
来場者：30人



これまで従来の「さすまた」で、万が一の不審者に対応できるのか不安がありました。というのも、壁のないスペースでは制圧が困難だからです。また、不審者に先端をつかまれると、かえって危険です。通報から救援が到着するまでの数分間、さすまたのみで不審者に対処することは難しく、不審者が男性の場合、女性が制圧し続けることはリスクが高すぎます。

それが先日、新タイプの「さすまた」を知りました。これは、さすまたの先端にパネ加工された1メートルほどのベルトが装着されており、ベルトが不審者に触れると、瞬時に巻き付く仕組みになっています。胸や脚元を狙えば手足の動きを封じることができ、不審者は身動きがとれなくなります。

平穩無事が一番ですが、このさすまたで訓練を続けられれば、緊急時に対応できるのではないかと思います。

(編集委員 K・K)



みんなが主役！
明るく楽しくなる
保育現場の秘訣！

⑥ 身につけたい「報告・連絡・相談」 (その②)



ほめ育シニアコンサルタント
中園 暁子氏

今月は、先月の「報・連・相」の「報告」に続いて、「連絡」と「相談」についてのお話です。

◆「連絡」とは？

【連絡】とは、関連する情報や得た情報、必要な情報やスケジュールなどを関係する相手へ伝えること。

「連絡」で大切なことは何でしょうか？ まずは情報が「正確」であること。

その理由はわかりたいだけかと思えます。そしてもう一つは、「わかりやすさ」ではないかと思えます。連絡におけるわかりやすさは、書類ならば、言葉の選び方やレイアウト・図表の用い方など。□頭ならば、説明が明瞭であるか、簡潔であるか、などです。

報告と同じく、「タイミング」も重要なポイントです。前回記事でお伝えしたとおり、予定や相手のタイミングを見計らう「思いやり」は大切だと考えています。

内容やタイミングが適切な連絡は、相手に安心感を与え、業務がスムーズになります。小さなミスにも対処できます。また、事前連絡の

徹底により、事故も防止できます。

私は以前、間違いに気づかないまま、印刷や発信などをしていたため（泣）、

チームに毎回事前チェックをしてもらうようになりました。ですから、誰かからチェックを依頼されたときは、必ず真剣にチェックしていました。「連絡」のポイントのひとつは「チーム力」といえるのかもしれない。

簡単そうに感じる「連絡」ですが、「伝えた」と「伝わった」は違います。「伝わった」が伝わったこと「と思えば、自分のなかでできる改善や工夫もでてくるのではないかと思います。

正確でベストなタイミングで発信される連絡は、関わる人の動きをスムーズにします。そして、その積み重ねが、安心と信頼へとつながると思っています。

◆「相談」とは？

【相談】とは、抱えている課題や問題に対して、他の人に意見、助言を求めること

「相談」する状況はさまざまです。行き詰まってどうしたらいいのか先が全く見

えない、どの方法を選べばいいのか迷って判断がつかない、違う視点からの意見や助言を求めたい、などの状況があるかと思えます。

いずれの状況においても、相談することは、「相手の時間をいただく」ことでもあります。そのため、相談内容をわかりやすく簡潔に伝えることが大切だと考えています。また、問題や課題に対して、自分なりの回答をもって相談するのも大切ではないでしょうか。判断を委ねることもときには必要ですが、自身で考えることは、自らの成長の機会と捉えることもできます。

以前、私は毎晩、部下から相談されていました。最初は上司として当然、と話を聞き、アドバイスをしていました。ところが数カ月経ってもその状況に変化が見られず、また同じような内容の相談をされることもありました。

また、毎日のその時間に他の業務ができない状況に私自身がいら立ちはじめました。「いいと思うよ」と突き放したり「前にも言ったよね」と厳しく言っ

たこともありました。その部下は1年後、退職することになります。私のなかで忘れてはいけない人であり、できごとです。

私の反省点は、部下に方針や判断基準を伝えられていなかったこと、部下に自分で考えることを促していなかったこと、そして、「失敗してもいいからチャレンジしてみよう」と言える信頼関係が築けていなかったことです。

相談とは、別の見方をすると「相談する側」としてはその相談の中に自身の成長の種が入っているというところ、「相談される側」としては、その相談のとき

が相談する人の成長と、自分自身の成長の機会なのだと思います。また、もう一つの見方は、「相談する側」も成長しようとしている、「相談される側」も時間を使って一緒に解決しようとしていたり、より良い答えを出すために動くこととしていたり、ということ。

こういったお互いへのリスペクトがベースにある相談は、必ずいい成果やお互い納得できる結論につなが

ると思います。

◆目的のための「報・連・相」

2カ月にわたって「報告」「連絡」「相談」について書いてきました。成果主義が主である海外では、「報・連・相」は必要ない、といわれていますし、これからの時代は「確認・連絡・報告」の「かくれんぼ」が必要だ、という意見もあります。

今もこれからも、大切なのは「これが正しいやり方だ」と断定することではなく、目的のために（例えば「園児の安全のために」など）どうすればいいのか、今何を誰に報告し、連絡し、相談すれば目的に向かって歩みを進められるのかを見失わないことではないでしょうか。そして、その道のりを、お互いへの「思いやり」と「リスペクト」を身につけて、チームで進んでいけたら最高ではないでしょうか。

次号10月号は、
⑦ケーススタディその1
「困ったどうしよう！失敗したけど…」をお届けします。

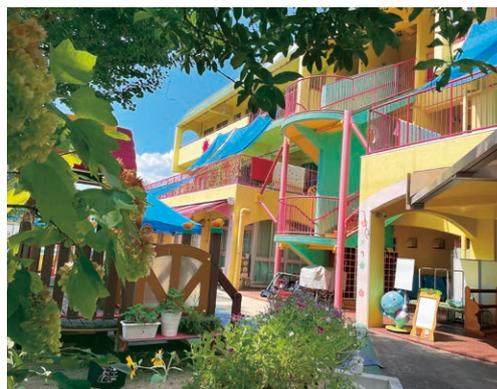


枚方市

見守りながら
やる気を引き出す

第二徳風保育園
だいにとくふう
保育園

社
会福祉法人徳風会の第
二徳風保育園は0〜2
歳児クラスのみ、定員120
人の保育園です。大きな国道
に近い閑静な住宅街のなかに
あり、毎日の通園にはたいへ
ん便利な場所にあります。
施設は3階建て築40年以上



▲住宅街にあるカラフルな園舎

ろん、廊下やおもちゃの置き場所までいいにに使われていると感じました。

と伺いましたが、それを感じさせないほど、きれいに整備されています。保育室はもち

育てたりと園の環境をフルに活用されています。保育は「見守り保育」を実

践されています。自分の物や自分が行く場所がわかりやすいよう、子どものもち物の置き場所や座る椅子にマークと顔写真を貼って子どもの動線を整理して、子どものやる気を引き出しておられました。家庭の子育て力が下がっているなか、1歳児クラスでは全員のオムツが取れると伺いました。乳児クラスの経験が職員間でしっかりと共有され、子どもたちとの関わりも自然と洗練される環境が整っている保育園でした。

(編集委員 T・I)

藤井寺市

心と体のバランス
を養う保育

ななこども園
ななこども
園

幼保連携型認定こども園

明
るい緑色の園舎が目
引くななこども園は、
公立保育所の民間移管により
開園しました。園舎に入って
最初に感じたのは、非常に落
ち着く空間だということです。
その理由は、園舎自体の構造
にあるようです。各保育室を、

ホールを中心に配置することで、開放的な空間を演出しているのです。また、同園は、たくさんの経験と遊びのなかで心と体のバランスを養っています。そこには保育者の工夫や仕掛けがあります。サーキット遊びやリズム遊びをクラスでも異年齢保育でも行います。また、時計を見て行動し、プランニングボードで自ら選択することを学びます。少人数のグループ活動では、自分の意見を伝えること、相手

の意見に耳を傾けることを大切にしています。運営主体である社会福祉法人種の会は関西、関東に多数の施設を運営しており、リ



▲落ち着いた環境でのコーナーあそび



▲たくさんの遊びを経験

モートや対面での理念研修や管理者会議、年齢別会議等で法人理念を共有しているそうです。子どもたちがつ自ら育つ力を信じることを大切にしています」と守田直美園長先生。園に関わる人たちが子どもの立場を尊重し、「みんなでみんなをみていく園づくり」という理念を実践されていると感じました。

(編集委員 R・Y)

